

ペースメーカー関連業務

和歌山県臨床工学技士会
ペースメーカー部会

ペースメーカーとは

- 房室ブロックや洞機能不全症候群など徐脈性不整脈に対して失神、めまいなどを防止するために心臓を刺激して心拍出量を維持するためのシステムである。
 - ペースメーカーは特殊で専門化が操作することにより安全性が確保されるが今では臨床工学技士がその業務を担っております。
-

ペースメーカー業務

- ペースメーカー植え込み術
 - 電池交換術
 - ペースメーカー外来
 - 植え込み患者の手術時の設定変更
 - 緊急時対応
 - 在庫管理、データ管理
-

業務

植え込み術

看護師

放射線技師

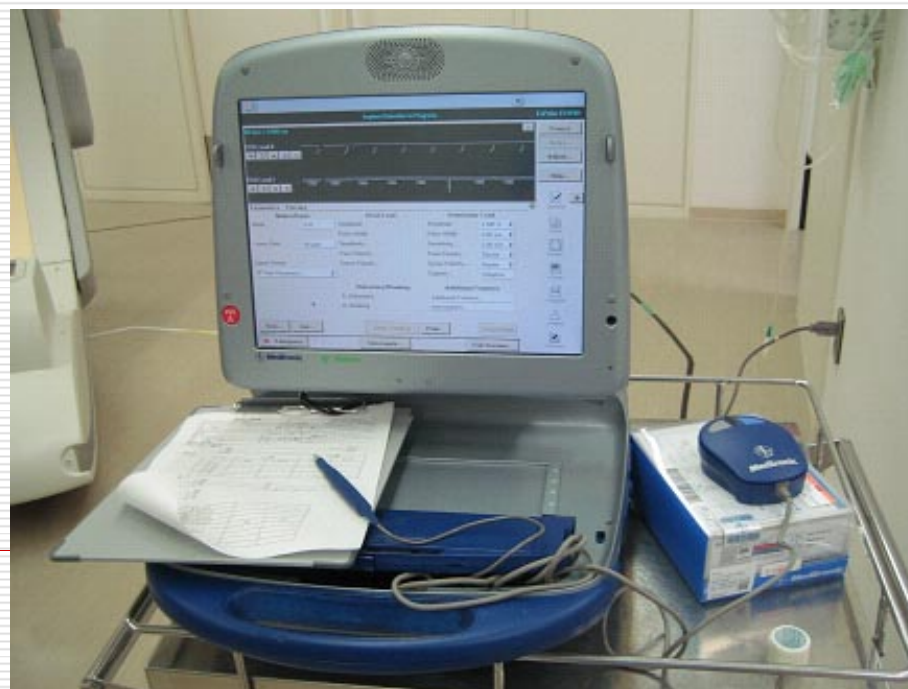
患者

CE

医師

- 心電図等のモニタの装着
- 電気メス対極板の貼り付け
- 体外式ペースメーカーの操作(挿入患者)
- ペースメーカーの初期設定

患者データ
モード
出力・感度etc



業務

植え込み術

■PSA操作

P波・R波高値の測定
電圧閾値測定
リードインピーダンス測定
横隔膜ペーシングしない事を確認

- 測定データの記録
- トラッキング用紙、手帳
- 終了前の確認
- 退院前の確認



業務

電池交換術

- 使用リード等の情報収集
- 自己脈の有無の確認
- 心電図等のモニタの装着
- モード、レート等の設定変更
- 電気メス対極板の貼り付け
- 新ペースメーカー設定変更
- トラッキング用紙、手帳への記入
- PSA操作
- 測定データの記録、データ管理、レポート作成
- 退院前の確認

看護師

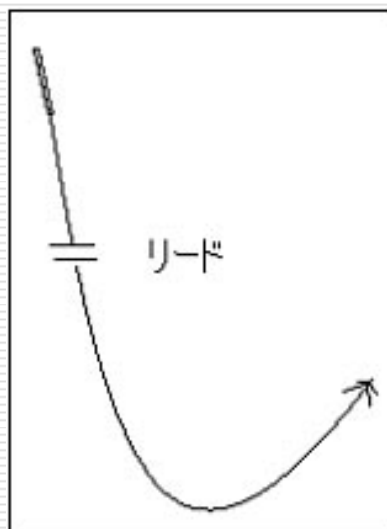
看護師

患者

CE

医師

電池交換術前の情報収集



リークまたは断線はないか？

閾値は問題ないか？

アダプタ等の付属品は使用されていないか？

形状は？



当院に置いてあるプログラマーで対応できるか？

リードの外し方、対応するドライバーがあるか？

現在の心電図は？ 作動状態は？ 設定は？

様々なプログラマー



- メーカーによってプログラマーも異なります。臨床工学技士はトレーニングを受け全てのプログラマーの操作を行います

業務

ペースメーカー外来

- 血圧測定
 - レントゲン写真、心電図の確認
 - テレメトリー
 - 測定データを電子カルテに入力
 - 外来担当医師に報告
 - 適宜閾値測定、設定変更
-

データ管理

- 患者データベース入力
- トラッキング用紙
- ペースメーカー手帳
- コスト伝票

